



途中出場で流れを変えたセッター佐藤

佐藤の「頭腦的トス」&堀内のサーブで接戦制す

女子 都市大塩尻



△都市大塩尻・土浦日大第1セット、中央から強烈なスパイクを放つ都市大・堀内(右)

初戦突破

ハレボール全日本 高校選手権第1日
(5日 東京体育館)

1回戦が行われ、県勢は男女とも2-0のストレートで勝利を収めた。女子代表の東京都大塩尻は土浦日大(茨城)の高さと速さに苦しんだがミドル堀内(3年)が、途中出場のセッター佐藤優華(1年)らの活躍で2セットとも27-25で競り勝った。男子代表の創造学園は埼玉栄を危なげなく倒した。

▽女子1回戦
都市大塩尻 27-25(0) 土浦日大
都市大塩尻 27-25(0) 茨城

連続得点で土浦日大をつかまえた。効果的だったのが相手のウイングとリベロの間を突いた堀内のぶり初戦突破を断った。サーブ、18点目をキープし、硬さのあった第1セットスエースで奪うとその後トは16-20から逆襲、4も守りを崩した。ミドル

加藤菜々子(3年)のアト途中から登場した佐めにも手を焼いた初戦。ロックポイント、ウイン。藤。県勢の一角で参加 前回スタメンは堀内、中グ中島優花(3年)の強した昨年度の都道府県対 馬だけとチームの経験値打を呼びこみ、「狙いど 前中学大会でベストセットは低かったが、各自がやわり、流れをつくれたか ターキーに輝いた司令塔はるべきプレーを判断しなな」と振り返った。その、ブロックがレフトに2 がら、ものにした。岡田後は、進 2セットとも逆転 降安監督(前)は「一退とな つ目を獲ったら競り、25 じゃう。まだ(集中25からウ インク小山菜央(2年)、枚ついできた」と相手の 腰を口にした後で、「今堀内の強打で先取した。 意図に気付き、裏をかいた。このセットもつれを新たにした。全員が右第2セットは14-18か たが、最後は加藤の連続 手に「勝」と記して臨んら5連続得点、中央から 得点で終止符を打った。 だ選手たちは苦闘を肥やト攻撃など突っ走っ 1点82の相手ミドルのしに三重との2回戦に挑た。光ったのが第1セット 高さ、両サイドの速い攻む。(高地 浩志)

■この記事・写真等はスポーツニッポン新聞社の許諾を得て転載しています。
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。
学校法人 五島育英会